

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公開番号】特開2008-238540(P2008-238540A)

【公開日】平成20年10月9日 (2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-81326(P2007-81326)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/21 (2006.01)

B 4 1 J 2/525 (2006.01)

H 0 4 N 1/409 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【 F I 】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 A

B 4 1 J 3/00 B

H 0 4 N 1/40 1 0 1 D

H 0 4 N 1/40 D

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 6 T 1/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月26日 (2010.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブラックインクと前記ブラックインクよりも浸透性の高いカラーインクを付与することにより記録媒体に記録を行うためのデータを生成するデータ生成装置であって、

第 1 の解像度で記録を行う第 1 モードと、前記第 1 の解像度よりも低い解像度で前記第 1 モードよりも高速に記録を行う第 2 モードとを含む複数のモードから 1 つのモードを設定するモード設定手段と、

前記ブラックインクが付与されるブラック領域と前記ブラックインク及び前記カラーインクのいずれも付与されないホワイト領域とを含む画像を記録するとき、前記ブラック領域のうち前記ホワイト領域に隣接するエッジを含む領域をホワイト隣接ブラックエッジ領域として設定する領域設定手段と、

前記ホワイト隣接ブラックエッジ領域に付与される前記ブラックインクに重なるように前記カラーインクを付与するための重ねデータを生成する重ねデータ生成手段と

を備え、

前記領域設定手段は、前記第 1 モードが設定された場合、前記第 2 モードが設定された場合よりも、前記ホワイト隣接ブラックエッジ領域におけるエッジからの幅を示す画素数を多く設定することを特徴とするデータ生成装置。

【請求項 2】

前記画像が、前記カラーインクが付与されるカラー領域をさらに含む場合、

前記領域設定手段は、前記ブラック領域のうち前記カラー領域に隣接するエッジを含む

領域をカラー隣接ブラックエッジ領域としてさらに設定し、

前記重ねデータ生成手段は、前記カラー隣接ブラックエッジ領域に付与される前記ブラックインクに重なるように前記カラーインクを付与するための重ねデータをさらに生成し、

前記領域設定手段は、前記第 1 モードが設定された場合、前記ホワイト隣接ブラックエッジ領域におけるエッジからの幅を示す画素数を、前記カラー隣接ブラックエッジ領域におけるエッジからの幅を示す画素数よりも多く設定することを特徴とする請求項 1 に記載のデータ生成装置。

【請求項 3】

前記カラーインクはシアンインク、マゼンタインク、イエローインクの 3 色を含むことを特徴とする請求項 2 に記載のデータ生成装置。

【請求項 4】

前記重ねデータ生成手段は、前記ホワイト隣接ブラックエッジ領域に対して、シアンインク、マゼンタインク、イエローインクを同じ比率で付与するように前記重ねデータを生成することを特徴とする請求項 3 に記載のデータ生成装置。

【請求項 5】

前記重ねデータ生成手段は、前記カラー隣接ブラックエッジ領域に対して前記カラーインクを付与するための重ねデータを、前記シアンインクを付与する比率を前記マゼンタインク及び前記イエローインクを付与する比率よりも高くなるように生成することを特徴とする請求項 3 または 4 に記載のデータ生成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】データ生成装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、データ生成装置に関し、詳しくは、ブラックインクとカラーインクを用いて記録を行う際の、ブラック画像におけるカラー画像など他の領域との境界領域の記録に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

本発明の目的は、以上の点から、カラー画像との境界におけるブリーディングが低減され、かつシャープネスを含む品位が高い黒画像を記録できることを可能とするデータ生成装置を提供することである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

そのために本発明では、ブラックインクと前記ブラックインクよりも浸透性の高いカラーインクを付与することにより記録媒体に記録を行うためのデータを生成するデータ生成装置であって、第１の解像度で記録を行う第１モードと、前記第１の解像度よりも低い解像度で前記第１モードよりも高速に記録を行う第２モードとを含む複数のモードから１つのモードを設定するモード設定手段と、前記ブラックインクが付与されるブラック領域と前記ブラックインク及び前記カラーインクのいずれも付与されないホワイト領域とを含む画像を記録するとき、前記ブラック領域のうち前記ホワイト領域に隣接するエッジを含む領域をホワイト隣接ブラックエッジ領域として設定する領域設定手段と、前記ホワイト隣接ブラックエッジ領域に付与される前記ブラックインクに重なるように前記カラーインクを付与するための重ねデータを生成する重ねデータ生成手段とを備え、前記領域設定手段は、前記第１モードが設定された場合、前記第２モードが設定された場合よりも、前記ホワイト隣接ブラックエッジ領域におけるエッジからの幅を示す画素数を多く設定することを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１９

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】削除

【補正の内容】